次世代育成支援対策推進法に基づく
宮城県農業共済組合 行動計画

男女ともに全職員が仕事と子育てを両立させることができ、すべての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する

1 計画期間 2022年9月15日 ～ 2026年3月31日 4年間

2 目標と取組内容など

目標1 (職業生活に関する機会の提供に関する目標)

労働者に占める女性労働者の割合を2026年3月末までに25%以上とする。

〈取組内容〉

- 2022年10月～ 毎年一定数の女性労働者を採用計画に組み込む。
継続的な雇用が実現できるよう、両立支援制度の職員への周知を行う。
- 2023年4月～ 係長級以上の女性労働者に対してキャリアアップへの意識調査を行う。
係長級・課長補佐級の職員に対してキャリアアップへの意識啓発を目的とした研修を行う。
管理職(課長職以上班長含む)を対象に人事評価基準に対する認識を揃えるため、公正な人事評価に関する研修の実施。
- 2024年4月～ 現在の人事評価基準が男女公正な評価基準になっているか、形式的な年功序列の評価になっていないか精査し、必要に応じて評価基準の見直しを行う。
- 2025年4月～ 見直した評価基準について試行開始する
- 2026年4月～ 見直した評価基準に基づく評価を導入する。

目標2 職業生活と家庭との両立に関する目標)

獣医職の平均残業時間数等の労働管理時間を2026年3月末まで40時間以内とする。

〈取組内容〉

- 2022年10月～ 長時間労働是正に関する組合長、参事からのトップメッセージの発信。
- 2022年10月～ 獣医職全員及び事務職の該当者から獣医職の業務効率化に関するアンケートを実施する。
- 2023年4月～ アンケート結果をもとに、獣医職の業務効率化の施策を検討し、実施する。
- 2024年4月～ 実施した施策をPDCAサイクルにより精査していく。
- 2025年4月～ 施策範囲を事務職まで広げる。